

【第1号議案】 令和5年度事業報告及び会計決算について（案）

令和5年度 事業報告

少子高齢化の進展、人口減少社会の到来に加え、新型コロナウイルスの世界的な感染拡大は、経済的困窮、雇用の不安定等の課題を増大させ、子育てや介護、高齢者のフレイル悪化にも影響する等、社会的孤立をはじめとする地域生活課題の複雑化・多様化をさらに進行させました。

こうした状況に対し、「“こうべ”の社会福祉協議会 地域福祉推進計画2025」で神戸市社会福祉協議会、各区社会福祉協議会が一体となり目指している『拡げる理解 拡がる参加 お互いさまの地域づくり』の実現、「地域共生社会の進展」、「SDGs＝誰一人取り残さない持続可能で多様性と包摂性のある社会」を推進していくため、令和5年度社会福祉法人神戸市須磨区社会福祉協議会（以下「本会」という）では、「福祉のこころを育む」「福祉課題の早期発見・早期対応」「つながりづくりの推進」の3点の主要方針に基づき、各種の事業に取り組みました。

本会では、福祉の心を育むために、子どもたちが学び、体験する機会への支援を積極的に行い、ホームページや広報紙などを通じて、「ボランティア講座」の開催や「ボランティア活動紹介情報」を発信する等、区民への理解、参加を呼びかけてきました。

特にお互いさまの地域づくり、つながりづくりのために、「こどもの居場所の立ち上げ、運営支援」や「大学生など若い世代の参加・育成」を通して、新たな担い手確保に注力しました。

その結果、これまで地域福祉活動に関わりの少なかった人たちが地域を知り、参加するきっかけとなり、将来の担い手へと繋がっていくこととなりました。次年度以降も様々な取り組みの中で新しく参加できる機会を設けていきます。

令和5年度は須磨区からの委託事業で、民生委員の負担軽減（ICTの活用）、広報啓発（本会ホームページでの特設ページ開設）など、民生委員の新たな担い手確保につなげていくための取り組みを行い、未来の地域づくりの担い手となる人材発掘を目指しました。また、福祉課題の早期発見・早期対応ができるよう、兵庫県予算で職員が1名配置され、生活福祉資金貸付相談と地域福祉ネットワーク事業との連携による生活困窮者支援にむけた動きや社会福祉法人連絡協議会「ほっとかへんネット須磨」での総合相談窓口をはじめとした取り組みの強化に努めました。

さらに地域福祉の推進を強化するため、令和7年4月1日の神戸市と9つの区社会福祉協議会の法人合併にむけ、「市・区社会福祉協議会組織体制のあり方検討会」や、市・区社会福祉協議会理事会・評議員会で合併にむけた協議が行われるとともに、大幅な業務見直しが行われてきました。

来年度、阪神淡路大震災から30年を迎えるにあたり、災害に対しての備えや取り組みを計画していた中で、今回、令和6年1月1日に発生した能登半島地震、改めて平時からの備えや訓練の必要性を認識することとなりました。能登半島地震に対しては、災害支援の募金活動や能登半島（七尾市）の災害ボランティアセンターの運営支援に職員を派遣しました。

市・区社会福祉協議会としては、いざという時に備え、災害時のボランティアの受け入れ調整や「災害ボランティアセンター」の運営ができるよう研修や訓練、準備をすすめていくとともに、今回の職員派遣により最新のノウハウを構築することができました。

一方で単身化、高齢化が進む須磨区では「お互いの支え合い」が一段と大切になってきています。これからの先の人生を見つめ直すために、本会では「わたしの未来ノート」をあんしんすこやかセンターとともに作成し、地域で支援する関係機関と啓発活動について共有し、次年度以降も取り組んでいくこととなりました。

誰もが社会とのつながりや生きがいを感じ、住み慣れた地域で自分らしく暮らしていけることを目指してきました。特に、福祉課題を抱えた世帯に対しては、早期にニーズを発見し、適切なサービスにつないでいけるよう支援団体や関係機関とのネットワークを構築するための協議をすすめ、連携強化に努めました。

<以下、事業報告内の表示について>

 新規事業

 拡充

機能や内容を充実した事業



共同募金配分金を活用



善意銀行の寄付を活用

1. 気づき・共感を育む

共に支え合う社会にするためには、くらしの困りごとを抱えている誰かの存在に気づくこと、その方の悩みに寄り添う気持ちを抱くこと、誰もが持っている優しさや思いやり、助け合いの気持ちを育み上げることが大切です。

私たちは、くらしの困りごとを解決するため、地域の皆さんの助け合いの気持ちを後押しし、福祉の心の輪を広げます。

(1) 思いやりの心を育みます

ア：手話入門講座の開催

須磨区聴力言語障害者福祉協会、手話サークルところと連携し、挨拶や自己紹介等の簡単な日常会話ができる程度の手話技術を学ぶことで、区民が聴覚障がい者や手話への理解を深め、手話の普及を目的に開催した。

- ・開催日 令和5年4月12日(水)～令和5年9月6日(水)(全20回)
- ・場 所 大黒地域福祉センター
- ・参加者 23名(修了者数18名)

イ：夏休み親子手話教室の実施

須磨区内の小学生と保護者を対象に、あいさつや自己紹介等の簡単な手話の習得と聴覚障がい者への理解を深めることを目的に、夏休み親子手話教室を開催した。

- ・開催日 令和5年8月20日(日)
- ・場 所 須磨パティオ健康館3階パティオホール
- ・協 力 須磨区聴力言語障害者福祉協会、手話サークルところ
神戸女子大学手話部「翼」
- ・参加者 小学生40名 保護者35名

ウ：子どもヘルパー(高学年地域ボランティア)

こども会議を開催し、児童館行事や地域行事などに主体的に関わり役割分担など、子ども自らが企画して実施した。

- ・実施期間 令和5年4月～令和6年3月
- ・実施館 落合児童館、高倉台児童館、東須磨児童館、横尾児童館
- ・実施回数 合計 35回
- ・参加者 幼児391名

エ：認知症サポーター養成講座への協力

名谷南あんしんすこやかセンター主催の認知症サポーター養成講座、認知症キッズサポーター研修に参加し、小学生や高校生に向けて、地域全体での見守りの必要性について啓発を行った。

〈認知症サポーター養成講座〉

- ・実施日 令和5年10月11日(水)
- ・実施校 友が丘高等学校

〈認知症キッズサポーター研修養成講座〉

- ・実施日 ①令和5年10月26日(木)
②令和5年9月12日(火)、令和5年10月26日(木)
- ・実施校 ①多井畑小学校
②神の谷小学校

オ：福祉学習に関する情報提供及び福祉教育機材の貸し出し

学校や地域からの福祉学習に関する相談に対して、情報提供や福祉教育用機材の貸し出しを行った。 備品数・貸出件数 延べ 72 回

種 類	在庫	貸出	種 類	在庫	貸出
車いす	14 台	22 回	小型点字器	35 台	2 回
白杖	4 本	5 回	アイマスク	45 個	2 回
高齢者疑似体験セット (S/M/L サイズ)	S4 個	9 回	コミュニケーション麻雀 (4 個は 4 拠点に貸出中)	2 個	0 回
	M4 個	11 回			
	L2 個	6 回	かるたセット	2 個	2 回
イヤードیفENDER	10 個	6 回			

(2) 支え合う気持ちを後押しします

① ボランティアセンターの運営

「ボランティアをしたい人」と「ボランティアを必要としている人」をつなぐ中間支援組織として、人と人が支え合う仕組みづくりを構築し、地域活動の推進を行った。

ア：登録・紹介

- ・登録者数 個人 385 名 / 団体 310 団体 (9,605 名)
- ・依頼件数 174 件 (紹介数 140 件)
- ・その他相談、情報提供 560 件

イ：「須磨区ボランティアセンターだより」の発行

須磨区ボランティアセンター登録ボランティアの活動がより充実することを目的に、活動報告や講座などの情報発信を行った。

- ・発行回数 年 2 回 (7 月・1 月)
- ・部 数 各 680 部

ウ：地域ボランティア活動助成事業及び県民ボランティア活動助成の受付

ボランティア活動を推進するため、ひょうごボランティア基金県民ボランティア活動助成と神戸市社会福祉協議会ボランティア活動費助成の申請支援および受付を行った。

- ・ひょうごボランティア基金県民ボランティア活動助成申請受付 40 件
- ・神戸市社会福祉協議会ボランティア活動助成申請受付 13 件

エ：ボランティア交流会の開催

須磨区内の地域のつながりを促すため、ボランティア団体・個人ボランティアとの交流を図り、顔の見える関係づくりを目的として開催。団体として、個人として、減災について、意識を高め、どういったことが問題となるのか、どういった解決策が考えられるのか、地域で活動されているボランティア同士で共に考え、交流を深める場となった。

- ・開催日 令和 6 年 2 月 16 日 (金)
- ・場 所 須磨パティオ健康館 3 階パティオホール
- ・内 容 講師をファシリテーターとしてグループワーク、交流
- ・講 師 夢こらぼ 主宰 松尾 やよい 氏
- ・受 講 者 39 名

オ：ミニライブの開催

コロナ禍以降、減少気味であるボランティア団体・個人の活動を応援するため、活動の場所を提供するとともに、須磨区ボランティアセンターの広報活動につなげた。

- ・開催日 令和5年5月26日（金）
令和5年10月13日（金）
- ・場所 KOBE 須磨きらくえん Fika 須磨の丘
- ・出演者 須磨区ボランティアセンター登録者及び団体
個人ボランティア 3名（5月）
※ハンドベル演奏、マジック、中国伝統芸能 変面
ボランティアグループ 3団体（10月）
※大正琴演奏、錬功 健康体操、ギターとハーモニカ演奏
- ・参加者 KOBE 須磨きらくえん Fika 須磨の丘、デイサービスご利用者
サービス付き高齢者住宅入居者 他 約24名

カ：須磨区ボランティア連絡会「須磨ネット」の事務局運営

センター登録のボランティアグループ代表者の有志が集まり結成している須磨区ボランティア連絡会「須磨ネット」の事務局として、連絡会の開催や所属団体の活動支援を行った。新たに須磨ネット連絡会で、ひょうご出前環境教室を実施した。

- ・講座名 「竹の文化は環境文化を育てる」
- ・開催回数 12回（第1水曜日開催・地域活動支援コーナー他）
- ・参加団体 12団体

キ：ボランティア共済及び行事用保険の受付・請求

- ・受付件数 749件
- ・請求件数 13件

ク：ボランティア入門カフェ講座

ボランティアに興味のある方へ活動に対して関心・理解・参加を促すため、受講者が参加しやすいカフェ形式での入門講座を定期開催した。

- ・開催日 毎月第2木曜日他随時（※予約制）（計7回開催）
- ・場所 本会 相談室2
- ・内容 ボランティア基礎・ボランティアセンターの機能と役割
- ・受講者 7名

ケ：小中学校との連携講座

区内の小学校より福祉学習の依頼があり、障がい関連の活動をされているボランティア団体へつないだ。

- ・開催日 ①令和5年11月7日（火）
②令和5年11月28日（火）
- ・場所 ①西須磨小学校
②板宿小学校
- ・対象 ①4年生 168名
②4年生 71名
- ・講師 ①須磨区言語障害者福祉協会、手話サークルころ
②ぐるーぶ ひだまり
- ・内容 聴覚障がいのある方から地域子どもたちへ簡単な手話指導を行い、障がいへの理解を深めた。

コ：ボランティア活動スキルアップ講座

不器用さを持つ子どもへの理解と支援の一環として、発達性協調運動障害に関する講演会を開催した。

- ・講演名 「不器用さを持つ子どもへの理解と支援」
- ・講師 関西学院大学教育学部 准教授 松井 学洋 氏
- ・開催日 令和5年9月21日(木)
- ・参加者 33名
- ・主催 須磨区自立支援協議会 親子部会
- ・共催 須磨区ボランティアセンター

サ：「KOBE シニア元気ポイント」制度運営協力

高齢者の外出の機会の増加や社会参加の促進を図ることを目的として、神戸市が実施する「KOBE シニア元気ポイント」制度の説明会を開催。あわせて、ボランティア活動についての説明や相談受付を行った。

- ・開催期間 令和5年4月～令和6年3月(計8回)
- ・場所 須磨区文化センター・須磨パティオ健康館3階パティオホール
- ・参加者 延べ64名

シ：「ボランティア紹介情報」の発行・更新

出演ボランティアに限らず、活動先を募集しているボランティア、メンバー募集しているボランティアグループ等広く掲載し、希望者を再募集するとともに情報を更新した。さらに随時、更新できるようにした。

②多様な福祉活動への参加促進

ボランティア活動を地域とつなぎ、また、募金や寄付等を通して、支え合う気持ちを後押しし、須磨区共同募金委員会の運動に協力した。

ア：絵手紙ボランティア活動

「がんばる気持ちを共有～プロジェクト絵手紙とともに～」の実施

絵手紙ボランティア入門講座修了生等が、ひとりぐらし高齢者等(登録者246名)へ定期的に絵手紙を送る活動を実施した。また、来庁する区民に向け、絵手紙ボランティアのメッセージとともに、頑張る気持ちを共有していくため、区役所1階、4階通路で作品の展示を行い区民に紹介した。

- ・活動人数 40名
- ・場所 須磨区役所4階 ホワイエ部分
- ・内容 絵手紙ボランティアグループ(一期一絵、ほほ絵み、そよかぜ、チューリップ)による絵手紙の展示

イ：絵手紙ボランティア研修・交流会

講師の指導により、作品の制作。制作後、講師による講評・交流を行った。

- ・開催日 令和5年12月11日(月)
- ・場所 須磨区役所2階 健康教育室
- ・内容 作品の制作、講師による講評、参加者同士の交流
- ・参加者 20名

ウ：テレホンサポートの実施

ボランティア(テレホンサポーター)が週1回、区内のひとりぐらし高齢者(希望者)に安否確認を兼ね電話をかけ、話し相手や相談等を行った。

- ・実施日数 95日
- ・ボランティア数 8名
- ・利用者 21名
- ・通話回数 1,248回

エ：赤い羽根共同募金・歳末助け合い募金への協力

地域団体や学校園等に協力いただき、共同募金の趣旨や役割について啓発強化を行いながら、10月から3月の間、募金運動に取り組んだ。

また、「募金百貨店プロジェクト」を通じて、事業所や企業と連携した募金運動を行った。

募金運動期間 令和5年10月1日(日)～令和6年3月31日(日)
募金実績額 (一般、歳末、期間拡大1～3月) 5,560,985円

<募金種別内訳>

募金種別	実績額(円)	概要
戸別募金	2,984,567	各地域団体(自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、ふれまち、民児協)の協力による戸別募金【歳末たすけあい募金を含む】
街頭募金	383,761	10～12月の街頭・イベント募金(実施回数16件)
法人募金	757,492	企業、事業所、商店街、医院、歯科医院、薬局等募金百貨店【期間拡大】
職域募金	586,868	バッジ、クオカード等資材募金
学校募金	434,349	区内幼稚園、小学校、中学校、特別支援学校、高校、大学、専門学校
その他募金	413,948	個人、給食会、保育所、認定こども園、保育園、児童館・コーナー、官公庁、公共施設、公民館、ボランティアグループ、利息等
合計	5,560,985	

オ：募金百貨店プロジェクト

- ・件数 2件 (7,768円)
- ・協力施設、店舗 ①障害福祉サービス事業所ころわ
「寄付付きお弁当(カレー)」 3,718円
- ②(有)ビューティサロンキミ キミ・ロイヤル板宿店
「サービスの代金の一部を寄付」 4,050円
- ・地域配分額 3,685,988円 (前年度募金実績額に応じた須磨区への配分) 
共同募金を財源として、福祉啓発活動や須磨区内の各福祉
関係団体等の活動に対して助成を行った。

《内訳》

高齢者福祉活動事業	489,788円 (老人クラブ助成等)
障がい者(児)福祉活動事業	332,200円 (障がい者団体への助成等)
児童・青少年福祉活動事業	803,359円 (保護司会助成、子ども会助成等)
母子・父子福祉活動事業	462,400円 (母子生活支援施設等)
福祉育成・援助活動事業	473,920円 (施設の地域交流事業、防災備品等)
公募助成事業	1,124,321円 (こすもスマイル助成、居場所づくり おたすけ助成)

カ：歳末たすけあい募金

歳末の地域福祉施設や地域活動支援のため、共同募金とあわせて募金活動を実施し、助成を行った。

配分金額 1,087,970円

《内訳》

ひとりぐらし高齢者等給食サービスグループ (26グループ)	677,935円
ひとりぐらし高齢者友愛訪問グループ (109グループ)	337,615円
障がい者事業所 (7か所)	72,420円

キ：募金運動を通じた福祉学習

赤い羽根共同募金における参画と協働を通じた「新たな助けあいの創造」を目指し、次世代を担う児童・青少年に対し、募金運動を通じた福祉学習や街頭募金活動支援を行った。

《実施回数》 17回 (東須磨児童館、板宿児童館、妙法寺児童館、落合児童館、滝川中学校・高等学校、横尾児童館・学童保育コーナー、神戸星城高等学校、兵庫県立須磨友が丘高等学校、高倉台児童館、菅の台児童館等)

③善意銀行の運営

広く区民から善意の預託を受けた金銭や物品などを管理し、必要に応じて地域福祉の推進のために払出しを行った。

ア：金銭

預託	39件	816,461円
払出	45件	673,050円

イ：物品

預託	20件（切手、衣類、食品等）
払出	67件（区内福祉施設、助産施設、こどもの居場所、ボランティア団体生活困窮者等）

（払出内訳）

内 容	件数等	金 額
ひとりぐらし高齢者給食サービスグループ助成金	30件	300,000円
助産施設を通じた母子支援活動への協力	4件	121,980円
貸出車いす点検および修繕費	1件	15,070円
車いす貸出事業委託費	1件	36,000円
公募助成こすもスマイル助成事業	9件	280,000円
合 計	45件	673,050円

ウ：車いすの貸出

高齢や疾病などの理由により、一時的に車いすを必要とされる区民に対して車いすの貸出を行った。

延べ貸出件数 219台（本区 177台・きたすま障害者相談支援センター 42台）

（3）福祉の“魅力”を発信します

ア：本会ホームページ等の運営

ホームページを通じて、災害支援募金や各種講座の案内、共同募金の活動報告等、適時更新し、迅速な情報発信を行った。また、「Facebook」「兵庫イーブックス」にも本会ページを開設し、タイムリーに広報活動を行った。

- ・内 容 区社協の概要、区社協だより、募集・お知らせ等
- ・更新回数 91回
- ・アドレス <https://www.suma-shakyo.or.jp/>

イ：区社協だより「こすもす」の発行

区社協の活動紹介や協力団体の活動状況の発信等、写真やイラスト等を活用し、広く区民に親しみのもてる紙面づくりに努め、広報・啓発を行った。

- ・発行回数 1回（令和5年10月1日）
- ・部 数 55,450部
- ・配布方法 区内全域及び関係団体に新聞折りこみにより配布

ウ：地域団体広報活動支援

地域活動やボランティア活動に取り組む団体の支援を目的に、印刷機の貸出を行った。
貸出件数 100 件



▲ 本会ホームページ

▲ 本会 Facebook ページ

▲ 本会マスコットキャラクター

(<http://www.suma-shakyo.or.jp/>)

「こすもちゃん」

(4) 日頃から災害への備えを進めます

本会BCP(事業継続計画)の確認作業や災害ボランティアセンターの立ち上げ等の確認・検討の職員研修をおこなった。

ア：区社協内災害対応時研修(災害ボランティアセンターの運営等)

- ・実施日 令和5年8月17日(木) 災害ボランティア机上訓練
- 令和6年3月27日(水) 能登半島地震による災害派遣職員の報告

イ：市社協災害対応・支援研修(初級編・管理職編)

また、令和6年能登半島地震に対して、災害支援の募金活動や石川県七尾市災害ボランティアセンターの運営支援に職員を派遣した。(派遣期間：令和6年3月13日～3月19日)

2. 暮らしに寄り添う

障がいがあっても、高齢になっても、住み慣れた地域で自分らしく暮らし続けたい。そんな想いを形にできるように、一人ひとりの悩みを受け止め、「暮らしを守り、自分らしく生きる」ための働きかけを寄り添いながら進めます。生きがいややりがい、地域とのつながりづくりを意識しながら福祉の専門職や地域の皆さんと一緒に、一人ひとりの暮らしを支えます。

(1) 困りごとをまっすぐ受け止めます

①地域福祉ネットワーク事業

既存の制度やサービスでは解決が困難な制度の狭間や複合化した福祉課題について、地域の方々や専門機関とともに取り組み、課題の解決に向けたネットワークづくりを推進した。また、面談や電話相談のみならず、e-mailを活用した相談にも応じた。

ア：相談支援実績

- ・新規相談件数 162 件
- ・継続支援件数 508 世帯(延べ世帯数)
- ・区生活支援課暮らし支援窓口との連携支援件数 364 件

イ：メールを活用した相談窓口の設置

二次元コードを作成し、本会広報紙「こすもす」やチラシにて周知した。



ウ：生活困窮者向け食糧提供（食のセーフティネット）

窓口での緊急食糧支援 13件（本区11件、支所2件）

神戸市主催の「フードサポートこうべ ～食料品・生活用品の年末配布会～」にて
“困りごと相談コーナー よろず相談員”として市民からの相談に対応した。

- ・開催日時 令和5年12月27日（水）13：00～19：00
- ・開催場所 須磨パティオ健康館3階パティオホール
- ・来場者数 929名（男性191名、女性544名、こども194名）
- ・相談件数 28件（よろず相談13件、就職相談6件、法律相談9件）

②心配ごと相談所の運営

須磨区民生委員児童委員協議会の地区会長が相談員となり、地域住民の日常生活上のさまざまな相談に応じ、助言や各種制度や関係機関の紹介を行った。

- ・場 所 本会 相談室2
- ・開設日時 毎月第1、3火曜日（13：00～15：00）
- ・開設回数 22回
- ・相談員 23名（各回の相談員は2名）
- ・相談件数 11名

③成年後見制度の利用手続き相談室の運営

市民後見人候補者による成年後見制度の概要及び利用手続き説明の窓口を開設した。

- ・場 所 本会 相談室2
- ・開設日時 毎月第2火曜日（13：30～15：30）
- ・開設回数 12回※電話相談日を除く
- ・相談件数 13件

(2) 自分らしく暮らせるように支えます

①生活福祉資金の貸付相談及び受付

低所得者や障がい者の経済的自立と、生活の安定を目的とした貸付を行った。
貸付にあたっては、地域福祉ネットワークや神戸市「くらし支援窓口」との連携により、一体的な支援を行った。

貸付総件数 74件 貸付総額 31,914,600円

《内訳》

A) 教育支援資金			
貸付件数	61件	貸付金額	30,804,600円
B) 福祉資金			
貸付件数	8件	貸付金額	680,000円
C) 総合支援資金			
貸付件数	0件	貸付金額	0円
D) 緊急小口資金			
貸付件数	5件	貸付金額	430,000円

②認知症の人にやさしいまちづくりの推進

認知症になっても、住み慣れた地域で自分らしく安心して暮らし続けられるよう、区内あんしんすこやかセンターと連携し、各圏域で開催される地域ケア会議等で地域住民が認知症への理解を深めるための啓発を行った。

③児童館・学童保育コーナーの運営支援

ア：児童館の管理運営

児童館 7 館、および 3 か所の学童保育コーナーの管理運営（市社協運営施設）

〈令和 5 年度 児童館利用状況〉

（単位：人）

児童館名	年間延べ利用者数	1日平均利用者数	放課後児童クラブ在籍者数 (令和5年4月)	運営委員会
板宿	17,172	59	64	6月29日(木)
妙法寺	18,716	64	104	6月23日(金)
高倉台	15,866	54	58	7月5日(水)
落合 南落合学童保育コーナー 東落合学童保育コーナー	19,806 ※15,648 ※13,630	68 ※53 ※47	44 ※109 ※68	6月16日(金)
横尾 横尾学童保育コーナー	22,675 ※12,904	77 ※41	95 ※70	6月14日(水)
東須磨	20,152	69	114	6月30日(金)
若草	11,856	40	52	7月7日(金)
合計	126,243 ※42,182	平均 61 ※平均 47	531 ※247	

イ：児童館・学童保育コーナー巡回支援

児童館等を巡回し、実態調査を行うとともに適切な運営に向けて必要な支援・相談を実施した。

- ・実施期間 令和5年9月～令和5年10月
- ・巡回回数 23回

ウ：区内指導員・放課後児童支援員研修の実施

児童館職員について研修を実施し、職員の資質向上を目指した。

- ・指導員研修「児童館実践事例研修」 10月17日
- ・放課後児童支援員研修「放課後児童クラブにおける安全管理・危機管理について」
9月13日
- ・指導員、放課後児童支援員合同研修「保護者対応」
5月16日

エ：児童館合同行事の開催

A) 高齢者との交流事業の実施

子どもたちが作成した手紙やプレゼントを地域の高齢者に届けることで、地域での世代間交流を図った。

- ・実施期間 令和5年4月～令和6年3月
- ・参加者 756名（幼児25名、小学生501名、高齢者230名）

B) 須磨区児童館パネル展示

児童館の紹介などのパネル展示を通して、区民へのPRを行った。

- ・開催日 令和5年4月1日～令和6年3月31日 ※継続中
- ・場所 須磨区役所2階 こども家庭支援係 壁面
(おやかふらっとひろば横)

新規

C) 名谷ふれあいまつりへの参加

「名谷ふれあいまつり」に児童館ブースを出展し、子ども向け工作を実施し、須磨区内児童館のPRを区民へ行った。

- ・開催日 令和5年11月4日(土)
- ・場所 名谷駅前広場
- ・参加者 883名(幼児382名、小学生121名、中高生7名、大人373名)

④拠点児童館事業の支援(落合児童館)

地域の子育て支援の拠点児童館として、以下の専門講座を実施した。実施にあたっては、こべっこランドの養成講座を受講した子育てシニアサポーター(ボランティア)との連携を行った。

ア：子育て専門講座

- ・講座名 赤ちゃんとのふれあい講座
- ・講座回数 4回連続講座を年2回
- ・対象者 4か月～6か月の乳幼児親子
- ・参加組数 15組

イ：Jidoukan-café(ジェイカフェ)

発達がゆっくりな乳幼児とその保護者が、気兼ねなく遊び、日頃の育児の不安や悩みを共有できる居場所を提供した。

- ・実施回数 41回(年間)
- ・参加者 親子30組(延べ187名)

ウ：区の特성에基づく事業

就労などで平日児童館に来られない保護者にも参加しやすい土曜日に乳幼児と保護者のふれあいの場を提供した。また、子育て中の保護者同士の仲間づくりにつながるようなプログラムを実施した。

- ・事業名 おちあいファミリーひろば
- ・内容 父親参加型おやかふれあいひろば
- ・実施回数 2回
- ・参加者 延べ127名

エ：子どものおべんとうひろば

保護者が就労等により自宅不在で放課後児童クラブを利用していない小学生に対し、子育てシニアサポーターの協力のもと、居場所を提供した。

- ・実施回数 41回
- ・参加者 延べ99名
- ・子育てシニアサポーター 延べ66名
- ・子育てシニアサポーターの活動支援 登録者数20名

オ：指導者向け講座

- ・講座名 保育現場で活かす感覚運動遊び
- ・参加者 児童館、保育所・園、放課後デイサービス等職員 17名

⑤放課後こどもひろば（のびのびひろば）の管理運営及び運営支援
年間利用者数 2,323名（1日平均利用者数11名）

⑥児童館を拠点とした地域の子育て支援

子ども子育てサポート事業（地域の子育て支援）として、地域における子どもの見守りとともに児童健全育成を目的とした行事や、親子のコミュニケーション促進と子育て力の向上を目的とした行事等を実施した。また、児童館職員や子育てコーディネーターを地域の関係機関・団体に派遣し、子育てのコミュニティづくりを推進した。

ア：子育てコミュニティ育成事業

児童館を活用し、地域のコミュニティ作りを目的に実施した。

児童館名	回数	主な内容
板宿	3	カプラで遊ぼう、凧制作と凧揚げ、秋みつけ探検
妙法寺	6	お茶会、なつまつり、夏の工作教室、映画会、年末おたのしみ会、新春お飾り作り
高倉台	4	なつまつり、ハロウィンパーティー、クリスマス会、梅見の会
落合	11	第1～6回推進委員会、なつまつり、落合っ子フェスタ、シャボン玉ショー&自然工作、落ち葉でアート、防災訓練
横尾	4	夏のお楽しみ会、ハロウィンミッション、クリスマス会、推進委員会
東須磨	5	映画会、ラジオ体操・交通安全教室、ファミリー運動会、東須磨マラソン大会、バレーボール親子大会
若草	6	科学遊び、夏まつり、ハロウィンパーティー、もうすぐ若草小1年生、しめなわづくり、凧をつくってたこあげしよう
合計	39	参加者 延べ 3473名

イ：須磨区出前児童館の開催

近隣に児童館のない地域で児童館職員等が講師となり親子ふれあいあそびを実施した。

- ・実施場所・実施日
 - ①須磨ノ浦地域福祉センター 令和5年10月11日
 - ②離宮前町公園 令和5年11月1日
 - ③南落合地域福祉センター 令和5年11月14日、令和6年2月12日
- ・参加者 乳幼児 37名、大人 32名 ※全4回

ウ：おしゃべりほっとタイムの実施

助産師の進行で、乳幼児の保護者同士がお喋りをしながら子育てについて話し、助産師の助言を受けたり共有したりすることで、産後うつや児童虐待の防止に繋げることを目的に実施した。

- ・実施日 令和5年9月～令和6年1月（合計28回）
- ・実施場所 須磨区内14児童館
- ・参加者 幼児183名、大人164名

エ：児童館リサイクル事業への支援

保護者から子ども用品のリサイクルの希望の声を受け、児童館にて交換会を実施した。物品を提供する側とされる側の保護者が子ども用品を通して交流が深まり、つながるきっかけとなった。

- ・実施日 令和5年6月～令和6年2月(合計19回)
- ・実施館 板宿児童館、たかとり児童館、高倉台児童館、白川台児童館、落合児童館、北須磨児童館、若草児童館、松風児童館
- ・参加者 501名(幼児181名、小学生47名、中学生1名、大人238名、ボランティア34名)

オ：子どものあそびプログラム講師派遣事業

児童館事業への支援(子どものあそびプログラム講師派遣事業)として、乳幼児親子や小学生が楽しめる手遊び等のプログラムを提供した。

- ・実施日 令和5年6月～令和5年11月(合計14回)
- ・参加者 334名(区内全児童館)

3. つながり、支え合う

(1) 支え合い活動につなげるため、話し合う場を作ります

拡充

① 民生委員・児童委員の活動支援と連携強化

誰もが住み慣れた地域で安心して生きがいのある生活ができるよう、地域住民の身近な相談役である民生委員・児童委員、主任児童委員とともに、地域の中で互いに支え合える見守り体制の仕組みづくりを推進した。

また、民生委員・児童委員活動の区民の理解促進や担い手の育成、活動の環境整備等を、区保健福祉課や地域協働課と連携して進めた。

ア：民生委員活動の広報の充実・強化

大学生18名が区内8地区に分かれ、民生委員・児童委員、主任児童委員を対象にインタビューを行い、民生委員活動の魅力ややりがいについて、本会のホームページ内に民生委員紹介ページを作成した。また、民生委員紹介ページを広報するためのチラシも作成した。

<https://suma-shakyo.or.jp/cms/minsei/>



イ：将来の民生委員となる新たな地域ボランティアの発掘・育成

民生委員の担い手となる候補者を発掘するため、民生委員・児童委員が行う地域活動(ふれあい給食会、喫茶、友愛訪問、こどもの居場所等)でのボランティア募集情報を当会ボランティアセンターから登録ボランティア、来庁者、SNS等を通じて案内し、活動とのマッチングを行えるよう環境を整備した。

- ・地区民生委員児童委員協議会専用のニード票を新規作成
- ・区地区民児協会長連絡会にてマッチングまでの流れを説明
- ・民生委員紹介ページの広報チラシ、区が作成した地域でのボランティア募集のポスター・チラシを活用

ウ：ICTを活用した民生委員業務の負担軽減・活動環境整備

〈地区民児協会長向けタブレット操作(ZOOM会議)研修会〉

(延べ参加者数54名、延べアシスタント数22名)

日 時	会 場	内 容	参加者数	アシスタント数
5月30日 13:30~16:30	須磨区役所 201 会議室	タブレットの操作方法、メールの使い方、ZOOM 会議への参加・退の実習	13名	7名
6月13日 13:30~15:30	須磨区役所 201 会議室、地域活動支援コーナー	タブレットの操作方法の復習、実際に ZOOM 会議に参加する講義、2部屋に分かれての実習	18名	8名
6月22日 14:00~16:00	須磨区役所 201 会議室	毎月の会長連絡会を ZOOM 会議にて実施(全員会議室に集合し、各々のタブレットから参加)	23名	7名

〈地区民児協単位でのスマホ操作研修〉 (延べ参加者数 41 名、延べアシスタント数 38 名)

地区民児協名	日 時	会 場	内 容	参加者数	アシスタント数
横尾	7月10日 10:00~12:00、 13:30~15:30	須磨区役所 403 会議室	Ⅱ	4名	午前4名 午後6名
高倉台・多井畑・友が丘	7月11日 10:00~12:00	多井畑地域福祉センター	I	10名	5名
東須磨	7月12日 10:00~12:00	東須磨地域福祉センター	I	7名	5名
西落合・横尾	7月12日 13:30~15:30	須磨区役所 201 会議室	I	9名	5名
だいち中部・東部	7月14日 10:00~12:00	大黒地域福祉センター	I	4名	5名
竜が台	7月26日 10:00~12:00、 13:30~15:30	竜が台地域福祉センター	Ⅱ	7名	午前・午後とも4名

【内 容】

- ・ I (2時間) : アプリのインストール、LINE の活用、こえとら、神戸市立図書館ネットワークサービス、神戸市電子図書館、AI アシスタント (Google アシスタント・Siri) について
- ・ II (4時間) : 上記に加え、インターネット検索 radiko、Google レンズについて

〈追加スマホ操作研修〉 (延べ参加者数 22 名、延べアシスタント数 14 名)

日 時	会 場	内 容	参加者数	アシスタント数
10月17日 13:30~15:30	花谷地域福祉センター	アプリのインストール、LINE の活用、radiko、こえとら、神戸市立図書館ネットワークサービス、神戸市電子図書館、AI アシスタント (Google アシスタント・Siri) について	7名	3名
10月20日 10:00~12:00	大黒地域福祉センター		7名	6名
10月31日 10:00~12:00	須磨の浦地域福祉センター		8名	5名

②あんしんすこやかセンターと連携した支え合い活動の推進

高齢者が住みなれた地域で、安心して生きがいのある生活ができるよう、関係団体と協働し、地域で互いに支え合える見守り体制の仕組みづくりを推進した。

ア：小地域見守り連絡会（見守りネットワーク会議）への参画

A) 民生委員児童委員協議会を単位に、見守り活動の課題や個別ケースの対応を検討し、活動に関する情報交換を行う小地域見守り連絡会に参画した。

参画回数 130回

B) 地域見守り活動の一層の推進を目的とし、各あんしんすこやかセンターの地域支え合い推進員が中心となり、民生委員・児童委員、友愛訪問ボランティア、本会等の地域活動者及び団体が参加する会議を支援した。

参画回数 19回

新規

イ：“気持ち”を言葉にする「わたしの未来ノート」の作成

区内のあんしんすこやかセンターと協働し、“自分の将来について”（生活、医療、介護等）考えるきっかけとなるよう、須磨区オリジナルの「わたしの未来ノート」を作成し希望者に配布等を行った。

作成数 12,500部



ウ：情報紙「赤灯台」の発行

地域支え合い推進員とともに、「わたしの未来ノート」への関心を高めるため、ノート作成までの過程や内容の告知、認知症予防のための脳トレクイズを取り入れた情報紙「赤灯台」を発行し、民生委員・児童委員や友愛訪問ボランティア等を通じて区内の高齢者へ配布した。

発行回数 4回

③生活支援活動・サービスの開発と定着

ア：高齢者見守り事業の協力事業者への広報・啓発

地域見守り活動推進事業の一環として協力事業者（住宅管理会社）による高齢者見守り事業の理解や実践がスムーズに行えるよう、あんしんすこやかセンターと協力事業者との「顔の見える体制づくり」を行うとともに、互いの意識を高め合う観点から意見交換会を開催した。

- ・開催日 令和6年1月23日（火）
- ・場所 須磨区役所2階 健康教育室
- ・参加者 16名
（（株）URコミュニティ2名、TC神鋼不動産サービス（株）
県営住宅部2名・市営住宅部2名、区内あんしんすこやか
センター（地域支え合い推進員）8名、区担当保健福祉課2名）
- ・内容 住宅管理会社、区保健福祉課より、緊急時の対応についての説明。
須磨本区管内と北須磨支所管内を2つのグループに分かれての
意見交換。

イ：地域活動の紹介

区内のあんしんすこやかセンターとともに地域活動（ふれあい給食会、ふれあい喫茶、つどいの場等）の情報を集約し、活動へ参加したい区民からの相談を受けた際には、活動へのマッチングを行った。

ウ：大学生を中心とした担い手の育成等

地域活動への参加、新たな企画の実施を通じて地域を活性化する大学生ボランティアグループ「SUMAP」の活動をサポートし、メンバー募集等、地域での新たな担い手の参加・育成を図った。

・「SUMAP」メンバー

神戸女子大学 6名、神戸学院大学 1名、関西福祉科学大学 2名、岡山大学 1名、佛教大学 1名

・活動回数 計 22 日

〈活動状況〉

日 時	活 動 先	内 容	参加学生
4月4日	神戸女子大学	「SUMAP」メンバー募集のための広報	2名
4月13日	落合団地	はり絵作り&健康体操	3名
4月22日	神戸女子大学	「SUMAP」メンバー募集のための広報	4名
5月18日	東落合地域福祉センター	①ふれあい給食会にて、レクリエーションを実施。 ②高校生からのインタビュー	3名
6月22日	小寺住宅集会所	つどいの場にて、レクリエーションを実施。高校生からのインタビュー	3名
7月4日	神戸学院大学	「SUMAP」メンバー募集のための広報	2名
7月29・30日	西須磨小学校	キャンプ、防災訓練	8名
8月24日	須磨区役所 地域活動支援コーナー	本会職員より、板宿地区でのモデル事業（以下、「板宿もちつき大会遊びコーナー」）についての説明	2名
9月20日	①須磨区役所 地域活動支援コーナー ②「板宿ママン」	①板宿もちつき大会遊びコーナー打合せ ②地域の活動者に取材	3名
10月6日	①須磨区役所 地域活動支援コーナー ②「板宿ママン」	①板宿もちつき大会遊びコーナーについての打合せ ②地域の活動者に取材	3名
10月11日	板宿地域福祉センター	板宿ふれあいのまちづくり協議会と12/17板宿もちつき大会遊びコーナー打合せ	3名
10月31日	須磨区役所 地域活動支援コーナー	12/17板宿餅もちつき大会遊びコーナー打合せ	2名

11月16日	本会 相談室2	高校生ボランティア募集のためのチラシづくり、遊びコーナー準備	2名
11月24日	①須磨区役所 地域活動支援コーナー ②滝川中学校・高等学校 (インターアクト部)	①板宿もちつき大会遊びコーナー打合せ ②中高生へのボランティア募集	3名
12月6日	①板宿地域福祉センター ②須磨学園高等学校	①板宿ふれあいのまちづくり協議会と12/17板宿もちつき大会遊びコーナー打合せ ②高校生へのボランティア募集	①4名 ②2名
12月17日	板宿地域福祉センター	板宿もちつき大会遊びコーナー運営	6名
12月21日	須磨区役所 地域活動支援コーナー	板宿もちつき大会遊びコーナーふりかえり	4名
3月9日	須磨区役所 地域活動支援コーナー	4回生を送る会	7名

・定例ミーティング 6回 延べ参加人数 18名

④高齢者見守り調査の実施

民生委員・児童委員の協力により、訪問調査を行い過去1年間に新たに「70歳以上の単身高齢者」または、「75歳以上の高齢者のみの世帯」、以前の調査において見守り不要と返信していた75歳以上の単身高齢者等のうち、日頃の見守りが必要な高齢者の状況を把握した。

⑤須磨区自立支援協議会との連携

地域で生活する障がい者のくらしを支える取り組みとして、須磨区自立支援協議会が開催する各部会に参画し、連携・協力を行った。

ア:まなぼー!!部会

障がいがある方の地域生活をサポートできるよう支援者の資質向上を目指した。精神障がいを抱える方の理解を深めるための勉強会を行い、ケアマネジャーや民生委員も参加し、支援者の資質向上と障がいへの啓発活動も行った。

イ:ともいき部会

「ともに生きる」という理念のもと、「災害時要援護者支援」や「権利擁護」の課題に取り組んだ。要援護者支援では、「わたしの避難カード」を作成し、避難行動の確認を行った。また、障がい者虐待の基礎を学び、特に虐待の未然防止に視点を向けるきっかけとなった。

ウ:親子部会

発達気になる子どもと保護者の支援と交流を目的に活動し、当事者とその家族のための情報冊子「すまっこナビ」をもとに、情報提供・啓発活動を行った。

エ:すまいんど部会

障がい事業所の自主製品の質の向上と販路の拡大を目指し、啓発活動・情報提供を行った。また、商品販売を通じて地域とのつながりづくりを検討した。

⑥「コープこうべ」との連携

ア:つながるミーティングへの参加

日時	会場	内容	参加者
7月3日	コープ白川台	イートインスペースを活用したイベントの開催について	生活協同組合コープこうべ 第3地区本部 コープ委員会 コープサークル コープくらしの助け合いの会 地区担当のあんしんすこやかセンター 本会
7月18日	コープ名谷	すま居る名谷での活動の進め方について	
7月26日	コープ北須磨	イートインスペースを活用したイベントの開催について	
2月19日	コープ白川台	サークル同士の情報交換	
2月19日	コープ北須磨	次年度のイベント開催について	
2月20日	コープ名谷	次年度のイベント開催について	
3月8日	コープ須磨	サークルや地域の課題について情報交換	

イ:コミュニケーション麻雀セットの貸し出し

- ・設置場所 4ヶ所 [コープ白川台・北須磨・名谷、一般社団法人ことばの道]
- ・設置台数 各1セット

ウ:フードドライブ譲渡会&交流会

〈実施内容及び交流会参加者〉

日時	会場	内容	参加者
9月12日	コープ須磨 (組合員集会所)	① 講演「こども食堂運営のコツ」 ② 意見交換、交流会、食材の譲渡会	生活協同組合コープこうべ 第3地区本部 こどもの居場所実施団体 地域協働課 本会
9月17日	リファール横尾	① 子どもSDGsアクション ② 意見交換、交流会、食材の譲渡会	
2月9日	コープ須磨 (組合員集会所)	① 講演「チンパンジーから学ぶ豊かな暮らし」 ② 意見交換、交流会、食材の譲渡会	
2月12日	コープ横尾 (組合員集会所)	① 子どもたちに音楽を届けるプロジェクト ② 意見交換、交流会、食材の譲渡会	

(2) 支え合い活動のしくみを創り出します

①地域福祉の担い手支援事業「すまコミュニティビジネス大学」の実施

「地域福祉の担い手育成支援」を目指した活動の展開。コミュニティビジネスの手法を活用し、自分のキャリアやスキルを活かした地域の課題解決や活動者自身の生きがいの創出や新たな活動者の発掘育成を目的に「すまコミュニティビジネス大学」を開催した。修了生がファシリテーターとなり受講生のサポートと共につながりづくりの機会をつくった。

ア：すまコミュニティビジネス大学

- ・開催日 令和5年9月13日～令和6年2月7日（全11回）
- ・場所 須磨区役所内会議室／オンライン講座同時開催
- ・講師 プリズムデザインラボ代表 畠 健太郎 氏
- ・参加者 14名（延べ164名）

受講生によるビジネス企画公開プレゼンテーション

- ・開催日 令和6年2月7日（水）
- ・場所 須磨区役所2階 健康教育室
- ・参加者 53名

新規 ②多世代交流で地域を活性化

子どもから高齢者までの幅広い世代を対象とした既存の活動に大学生がサポートすることで、地域での多世代交流促進や活動の活性化を図った。

- ・板宿ふれあいのまちづくり協議会主催「板宿もちつき大会」（住民約300名が参加）
大学生ボランティアグループ「SUMAP」が参加し、滝川中学・高等学校、須磨学園高等学校の生徒とともに、餅つきのサポートや遊びコーナーを設置した。

参加日時 令和5年12月17日（日）9：00～13：00

場所 板宿地域福祉センター

参加学生数 「SUMAP」（神戸女子大学4名、神戸学院大学1名、岡山大学1名、
関西福祉科学大学2名）

滝川中学・高等学校 9名

須磨学園高等学校 11名

③神戸市須磨区社会福祉法人連絡協議会（愛称：ほっとかへんネット須磨）への参画・支援

ア：事務局としての運営支援

須磨区の高齢・障がい・児童・保育等の社会福祉事業を運営する社会福祉法人が連携して地域福祉課題にアプローチし、地域社会への貢献をめざす、ほっとかへんネット須磨の運営を支援した。

- ・役員会 4回
- ・全体会 2回（オンライン会議形式を併用）

イ：実務者会の開催、参画

イベント・広報・研修・災害の4チームに分かれ、各チームそれぞれの計画に取り組み、加盟法人同士のネットワークを強化することができた。

- ・全体での実務者会 1回
- ・各チーム会議 11回（イベント・広報・研修・災害）

ウ：切れ目のない相談体制の構築

「福祉なんでも相談窓口」を加盟全法人に設置、地域での身近な相談窓口として受けた専門分野外の内容を含む相談を受ける体制の構築に取り組んだ。

- ・広報ツールとしてののぼりを全加盟法人へ配布し、地域への周知に努めた。
- ・加盟法人の法人行事（祭など）や須磨区内のイベントに、「福祉なんでも相談窓口」の設置を行った。

(3) 支え合い活動が地域に根付くように応援します

①ひとりぐらし高齢者友愛訪問活動の支援

ひとりぐらし高齢者等が、住みなれた地域で安心して暮らせるよう民生委員・児童委員と協力して、訪問等により安否確認を行っている友愛訪問グループに対して、活動の支援を行った。

- ・グループ数 115 グループ (ボランティア 561 名)
- ・対象高齢者数 1,784 名
- ・安否確認回数 延べ 166,037 回

②ひとりぐらし高齢者ふれあい給食会活動の支援

ひとりぐらし高齢者等を対象に閉じこもり防止やコミュニティへの参加を目的に実施している区内のふれあい給食会の活動支援を行った。また、実施団体同士のつながりづくりや運営支援を目的としたふれあい給食会衛生管理研修を実施した。

ア：区内ふれあい給食会の活動状況

- ・グループ数 30 グループ (ボランティア 533 名)
※うち、令和 5 年度活動再開 1 グループ、活動中止 3 グループ
- ・対象高齢者数 1,230 名
- ・開催回数 334 回

イ：須磨区内ふれあい給食会 衛生管理研修(対面×オンライン)

- ・開催日 令和 5 年 8 月 30 日 (水)
- ・場所 名谷ワークラボあおぞら(メイン)、須磨区役所 2 階 201(サブ)
- ・参加者 27 名(ふれあい給食会 14 グループ)
- ・内容 西部衛生監視事務所による「調理における食中毒予防及び食材の保管方法」の講義と、神戸名谷ワークラボあおぞらで活動中のボランティアへ「食品の取り扱いや調理の際の注意点等」の取材。

③さまざまな居場所づくり

ア：つどいの場支援事業

生活支援コーディネーターを中心に、あんしんすこやかセンター等と連携し、高齢者の介護予防や地域での支え合い体制づくりを目的とする「つどいの場」活動に係る、新規立ち上げの準備から補助金申請、活動の定着に向けての支援を行った。また、交流会を開催した。

A) 申請団体 7 団体

B) つどいの場交流会の開催

- ・開催日時 令和 6 年 2 月 28 日 (水)
- ・開催場所 須磨パティオ健康館 3 階パティオホール
- ・参加者 17 名 (13 グループ)
- ・内容 助成団体同士の交流、活動の情報交換。
令和 6 年度からの活動助成の案内内容や助成金変更点の説明。

イ：居場所づくりへの支援

社会参加のための居場所「コスモスのたね」

物づくりや軽作業等の活動を通じて、社会参加や就労が難しい方が、生きがいややりがいを感じ社会性自立のきっかけとなる場を提供することを目的として開催した。

- ・開催日 毎月第2木曜日 ※自由参加
- ・場所 須磨区役所3階 地域活動支援コーナー
- ・参加者数 延べ70名

ウ：こどもの居場所づくり事業

すべての子どもたちが、こども食堂や学習支援などを通して、地域の大人や友達と触れ合い、放課後や週末に安心して過ごせる居場所づくりの支援を実施した。

区内立ち上がり状況 37箇所（36団体）

A) 巡回・運営支援

現地確認や情報提供、相談を受ける等支援を行い、こどもの居場所の立ち上げ及び既存団体の継続のための運営支援を行った。

巡回・運営支援回数 61回

B) 須磨区こどもの居場所MAPの作成

須磨区内のこどもの居場所を広く区民にPRするため、こどもの居場所MAPを作成した。

- ・発行月 vol.2 5月 vol.3 10月
- ・発行部数 vol.2 2,500部 vol.3 2,000部
- ・配布先 各こどもの居場所実施団体、民生委員児童委員、地域福祉センター、小中学校、関係部局等

C) こどもの居場所づくり交流会

- ・開催日 令和5年7月19日（水）、8月9日（水）
- ・場所 須磨区役所2階 健康教育室
- ・内容 ヤングケアラー・若者ケアラー、運営団体の交流等
- ・参加者 実施団体24名、行政関係3名、企業8名

D) こどもの居場所づくりボランティア入門講座(全3日シリーズ・2クール開催)

- ・開催日 第1クール 令和5年9月23日～11月27日
第2クール 令和5年11月14日～令和6年1月27日
- ・場所 須磨区役所2階 201会議室、須磨区内こどもの居場所
- ・内容 講演「こどもの居場所とは?」、運営団体代表者事例発表、現地体験
- ・講師 mottoひょうご 栗木 剛氏、NPO法人S-Pace 金坂 尚人氏
- ・参加者 102名

拡充

E) こどもの居場所のための冷凍庫の運用

事業者等から寄贈された食材の一時保管と提供の調整を行う仕組みを強化するため、令和5年2月より設置し、冷凍食品を提供した。

寄贈内容 冷凍餃子、冷凍ラーメン（年3回）

④助成金による支援

ア：「居場所づくり」おたすけ助成

ポストコロナ時代を見据えた地域福祉活動の推進を目的に、赤い羽根共同募金を財源として、地域住民が主体的に取り組む「居場所づくり」（子ども、高齢者、障がい者、その他支援を必要とする人）を支援するための助成を行った。

- ・申請団体 21 団体
- ・助成決定 21 団体 合計 623,000 円（1 団体あたり上限 30,000 円）

イ：公募助成事業「こすもスマイル助成」による居場所づくり支援

須磨区内の地域団体やボランティア等が取り組む「居場所づくり」地域福祉活動等を支援するために、赤い羽根共同募金と善意銀行を財源として、外部委員の審査による公募助成事業を行った。

- ・申請団体 9 団体
- ・助成決定 9 団体（9 事業） 合計 750,000 円

《内訳》

備品費助成 3 事業 300,000 円 / 運営費助成 9 事業 450,000 円

ウ：須磨区こどもの居場所づくり立ち上げ応援助成

こどもの居場所の支援現地確認や情報提供、相談を受ける等支援を行うとともに、前年度より引き続き、「須磨区こどもの居場所づくり立ち上げ応援助成」を実施することで、こどもの居場所の立ち上げ及び既存団体の事業拡充を支援した。

- ・助成申請 7 団体
- ・助成決定 7 団体 合計 700,000 円（立ち上げ応援助成）

⑤福祉施設による地域交流推進事業への支援

区内施設と地域住民との交流活動を赤い羽根共同募金配分事業により支援した。

ア：おいでやすカーニバル

- ・開催日 令和 5 年 9 月 23 日（土・祝）
- ・参加対象者 近隣住民、学校、病院、福祉施設関係者、学生、行政、当該法人事業所の利用者
- ・参加者数 1,000 人（当該施設関係者 150 名、外部出店関係者 850 名）
- ・事業内容 模擬店や催しものを実施。

イ：ヨハネ祭

- ・開催日 令和 5 年 10 月 28 日（土）
- ・参加対象者 施設利用者、法人内施設利用者、地域
- ・参加者数 257 名（利用者 60 名、法人内施設利用者 15 名、地域 145 名、施設職員 30 名、ボランティア 4 団体、実習生 3 名）
- ・事業内容 施設利用者と地域住民とのふれあい。

⑥実習生の受入

福祉人材の育成への取り組みの一環として、社会福祉士相談援助実習として、神戸学院大学総合リハビリテーション学部の学生を受け入れた。

- ・実習期間及び人数 8 月 14 日～ 9 月 25 日 うち 24 日間（180 時間）1 名
10 月 4 日～12 月 10 日 うち 8 日間（60 時間）5 名

4. 法人運営事業

(1) 理事会・評議員会・監事監査等の開催

※ 書面決議による会議の開催日は、構成員の皆さまからの同意が得られた日を記載

会 議	開 催 日 (決 議 日)	内 容
第 1 回 理事会	令和 5 年 6 月 7 日(水)	第 1 号議案 令和 4 年度 事業報告及び会計決算について (案) 第 2 号議案 任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任について 第 3 号議案 評議員選任候補者の推薦ならびに評議員選任・解任委員会の招集について 第 4 号議案 次期理事及び監事候補者の評議員会への提出議案について 第 5 号議案 定時評議員会の招集ならびに提出議案について
第 2 回 理事会	令和 5 年 6 月 26 日(月)	第 1 号議案 理事長・副理事長の選任について 第 2 号議案 顧問の委嘱について
第 3 回 理事会	令和 5 年 9 月 4 日(月)	報告事項 市・区社協あり方検討会について
第 4 回 理事会	令和 6 年 1 月 9 日(火) ※書面決議	第 1 号議案 評議員選任候補者の推薦ならびに評議員選任・解任委員会の招集について
第 5 回 理事会	令和 6 年 3 月 25 日(月)	第 1 号議案 令和 5 年度補正予算 (案) について 第 2 号議案 令和 6 年度受託契約の締結について 第 3 号議案 令和 6 年度役員賠償責任保険契約について 第 4 号議案 吸収合併に伴う協議事項への合意について 第 5 号議案 吸収合併契約締結について 第 6 号議案 令和 6 年度事業計画 (案) 及び会計予算 (案) について 第 7 号議案 評議員会の招集ならびに提出議案について
第 1 回 評議員会	令和 5 年 6 月 26 日(月)	第 1 号議案 令和 4 年度事業報告及び会計決算 (案) について 第 2 号議案 理事及び監事の候補者選任について
第 2 回 評議員会	令和 6 年 3 月 25 日(月)	第 1 号議案 令和 5 年度補正予算 (案) について 第 2 号議案 吸収合併に伴う協議事項への合意の承認について 第 3 号議案 吸収合併契約締結の承認について 第 4 号議案 令和 6 年度事業計画 (案) ならびに会計予算 (案) について
理事・ 評議員	令和 6 年 1 月 30 日 (火)	法人統合後のあり方検討 意見交換会

会 議	開 催 日	内 容
監事監査	令和5年 5月18日(木)	令和4年度業務執行状況及び財産の状況に関する監査

第1回 善意銀行 運営委員会	令和5年 6月7日(水)	第1号議案 令和4年度善意銀行預託および払出の状況について
第2回 善意銀行 運営委員会	令和6年 1月31日(水)	第1号議案 令和6年度善意銀行事業計画(案)について 第2号議案 令和6年度善意銀行収支予算(案)について

(2) 評議員選任・解任委員会の開催

会 議	開 催 日	内 容
第1回 評議員選任・解任委員会	令和5年 6月7日(水)	評議員の選任について
第2回 評議員選任・解任委員会	令和6年 1月30日(火)	評議員の選任について

(3) 理事長感謝状の贈呈

各 部 門	個 人	団 体・グ ルー プ
善意銀行の部	1	6
ボランティア活動の部	10	4

理事会において本会の運営方針を決定し、評議員会では法人運営の状況及び事業の実施状況を検証し、適切な法人運営を進めます。